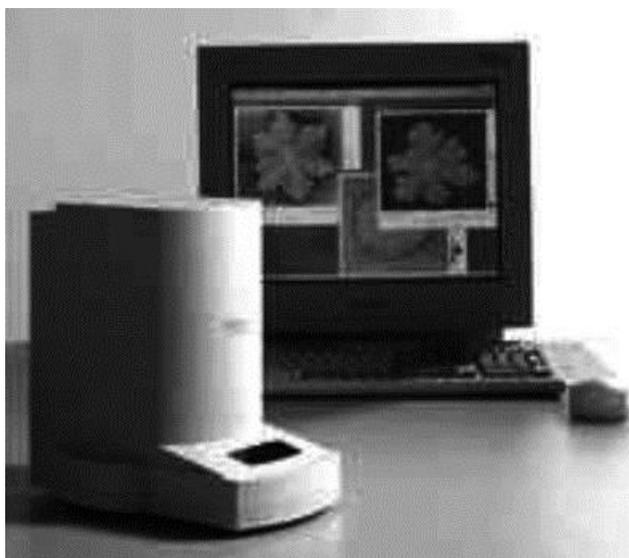


2 3 走査型プローブ顕微鏡 SPM-9500

管理講座	保存修復学講座
設置場所	末盛5階 中央研究室
管理責任者	千田 彰 (担当 中野健二郎)
電話番号	5381
設備内容	走査型プローブ顕微鏡 株式会社島津製作所 SPM-9500

機器の概要

本機器を使用した具体的な応用例として、金属などの無機物、あるいは有機物を含む生体試料などの三次元形状観察および三次元プロファイル測定などが挙げられる。試料と探針間の力学的・電磁氣的相互作用を検出し走査するため、絶縁物試料や生体試料を前処理することなく、試料表面を三次元的に画像構築することが可能で



ある。留意すべき点は、観察時の試料表面として、変化の速いもの、固定されていないもの、試料自体は固定されていても上部は浮いているもの、時間経過で浮いてくるもの、アスペクト比（試料の断面構造の横と縦の比）が大きい表面などでは観察が困難となる。SPMの原理や特性を十分に理解し、装置の性能が最大限発揮されるように試料のコンディション（硬さ、固定方法、対象の露出方法、対象物の存在する割合など）を整え使用する必要がある。

使用上の注意

備付のログブックに必要事項（使用日時・使用時間・所属・使用者・試料・モード・使用状況、不具合等）を必ず記入する。とくに機器を管理するために、動作状況や不具合の徴候などは詳細に記載する。

またカンチレバー、標準試料等は各自で用意し管理する。長期間連続使用する際は、管理責任者に事前の申請が必要である。